

■二・一六関西労働者集会に向けて■
多くを労働者は団結して立ち上げよう！

国鉄分割・民営化で、

七千六百二十八人の国鉄

労働者にJRへの不採用

通知が出された一九八七

年二月十六日から二八年

を迎えます。

この日に改めて国鉄闘

争勝利！一〇四七名解雇

撤回！を掲げて、港区民

センターで、関西労働者
 集会を開催します。

国鉄分割・民営化は

「新自由主義の始まり」

と言われ、当時の中曽根

首相が公言したように

「国労をつぶし、総評を

解体し、立派な憲法を床

の間に安置する」という

極悪の改憲攻撃であり、

国家を挙げた労働組合解

体攻撃であり、総非正規

化攻撃でした。

この攻撃によって国労

は少数組合となり総評は

解散して連合になりました。

労働者派遣法が施行

されたのは一九八六年。

消費税が税率三％で施行

されたのは一九八八年。

今、この社会の現実には、

非正規雇用が二〇〇〇万

人を超えた、消費税が八

％になり二〇一七年四月

には一〇％にするという、

労働組合が闘わなくなり

組織率は十七・七％で史

上最低を更新、そして今、

安倍政権が集团的自衛権

行使を容認し、憲法を変

えて戦争に突き進んでい

る、これらすべての出発

点が国鉄分割・民営化な

のです。

だからこそ私たちは、

国鉄闘争に勝利すること、

一〇四七名解雇撤回を勝

ちとることが労働組合の

闘いを甦らせ、生活と権

利を守り、戦争を阻止す

る道だと確信して国鉄闘

争を闘い抜いてきました。

国鉄分割・民営化に先

立つ八三年、全国六〇〇

〇人に及ぶ臨時雇用員解

雇に対して、当該の一人

であった和田弘子さんを

2.16 関西労働者集会
 国鉄分割・民営化で不当解雇から28年

1047名解雇撤回! 10万署名の力で解雇撤回判決を!
 民営化・外注化粉砕! 非正規職撤廃を闘おう!
 労働運動を甦らせ、戦争と民営化の安倍を倒そう!

10.1スト貫徹!

雇用・安全破壊の外注化粉砕!

■とき 2月16日(月) 午後6時開場 6時30分開始
 ■ところ 大阪市・港区民センター
 (JR環状線・市営地下鉄線「弁天町」駅から徒歩10分)
 ■主催 国鉄闘争全国運動・関西
 (連絡先) 全国金属機械労働組合・港合同
 大阪市港区南町筋3-6-26 TEL 09-6583-4858

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!

全面的に支援し裁判闘争・現場行動を闘い抜き、中曾根発言に対しては、国労組合員有志や国鉄闘争を闘う仲間呼びかけ、「四党合意」地労委闘争を提唱して闘いました。

また当時の国労が全国で展開した労働委員会闘争での勝利命令が、九年五月二十八日、東京地裁ですべてひっくり返され反動判決が出された際には、「これを放置すれば民間中小の闘いにも重大な影響を与える」との危機感をもって、全日建関西生コン支部や動労千葉と共に、十一月の全国労働者総決起集会を呼びかけ、以降、毎年新しい仲

間を結集させながら、集会も十七回を数えるまでなっています。

そして民主党政権時の二〇一〇年「一〇四七名問題一括和解」に対して、「国鉄闘争の火を消すな」と故大和田幸治事務局長も呼びかけ人となり、国鉄闘争全国運動を立ち上げ、関西でも港合同と関西生コン支部が中心となって、準備会として四月尼崎事故弾劾の集会を軸に取り組み、ついに昨年一〇月十七日の国鉄集会をもって「国鉄闘争全国運動・関西」として新しいスタートをきりました。こうして国鉄闘争が堂々と闘い抜かれてきたこと

で、動労千葉鉄建公団訴訟では、二〇一二年六・二九東京地裁判決と二〇一三年九・二五高裁判決で、いずれも不当労働行為を認定しました。そして今、最高裁を追い詰めています。

橋下市長・維新の会との闘いは団結権であり、



320名が結集した昨年10・17集会

労働組合をめぐる攻防です。中曾根が公言した「労働組合をつぶして、戦争をする」攻撃が、総評をつぶして連合になったのに、労働組合が今も現場で闘っていることに追い詰められた攻撃です。

桜井よしこがUAセンセンを持ち上げて「民間組合は官公労と決別し連合を分裂させよ」と言っています。これが、これこそ安倍政権の本音です。

港合同の先人たちが堂々と守り抜いてきた地域共闘・官民連帯の闘う労働運動の地平を守り抜き、国鉄闘争に勝利し、安倍も橋下もぶっ飛ばそう！

昌一金属支部 K

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！